

青森県SDGs取組宣言書

所在地 上北郡おいらせ町高田79-3  
 名称 CONSE  
 代表者 赤石 英二

わたしたちは、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針等及び取組を下記のとおり宣言します。

SDGs達成に向けた方針等

自然栽培でのハーブの生産・加工・販売の六次産業者の視点から、ハーブを使った植育（食育）活動を中心に、SDGsへの関心を高め、共に食の未来を考えていく人材を育成したいと思っています。

スマホなどの普及や流通の整備により、便利になった反面、食材との接点が逆に遠くなってしまっており、食材の価値が忘れられ、原価割れ状態まで発生しています。

また、日本の食が輸入に依存しており、自給率問題や国産の野菜も肥料や農薬も輸入に頼っている現状を、我々が実践しているハーブの育成や料理などを通して、問題意識を高めたいです。

取組内容	達成を狙うゴールの番号（1～17）	達成を狙うターゲットの番号（1.1～17.19）
☆ハーブを使った植育（食育） 学校や職場・ご家庭などで、ハーブを育てながら地球環境や食材の大切さ、堆肥化や自然の循環などを学び、もったいないという気持ちや食の未来を考えるプログラムです。 ・植える ・育てる ・収穫・調理 ・楽しく食べる ・繋ぐ（採種や堆肥化） という5つのプログラムの中にSDGsの内容を伝え、実践し体験することで自分事として考えることができます。 （主にフードロスへのアプローチ） また、そのプログラムを実践できる人材の育成も行います。	12	12.3, 12.8,
☆フードアクティビスト啓蒙活動 食の未来を考えるフードアクティビスト活動を広める啓発・啓蒙活動を実施します。 ・SNSなどを利用した啓蒙活動 ・ポッドキャストなどの音声配信メディアを利用し、SDGs・実践している事や実践している方の話をお聴きし、発信する。	12	12.3, 12.8
☆農薬や肥料を使わない、自然の循環を利用した自然栽培の実施・普及 雑草や虫・菌やバクテリアなどの自然の循環を利用し、農薬や肥料を使わなくても野菜を栽培する農法を実践し、地球にやさしい農法を普及します。 また、更に科学的にも実証し改善、より再現性を高め、実施する人材を育成します。	12	12.3, 12.8